Azureの学び方

湯川 勇太

Azureって何?

- Q. Azureとは何ですか?
- A. AzureはMicrosoftが提供しているパブリッククラウドです
- Q. Windowsと.NET以外も使えるのですか?
- A. 2014-15頃が根本的な転換点で、以降はWindows & .NETは選択肢の 1 つくらいの位置づけです 2010-15頃にAzureを使っていて、一度離れてしまった人にとってはいまは別世界になっています ちなみに2014年はSatya NaderaがCEOに就任した年です
- Q. laaSは使えるのですか?
- A. いまはlaaS (仮想マシン) も使えます
- Q. 可用性ゾーン(同一地域内の別データセンターを活用した冗長化機構)はないんですよね?
- A. リージョンによります。日本では東日本には可用性ゾーンがありますが、西日本にはありません
- Q. PowerShellが分からないです
- A. PowerShellが分からなくて困ることはほんどありません

Azureを学ぶ理由

Azureを学ぶ理由

理由①

パブリッククラウドは引き続き拡大を続ける

→お仕事が増える

理由②

Microsoftはパブリッククラウドの中で高い市場シェアを確保している

→学んだ技術を使うところはたくさんある

おまけ

個人開発者にとっても嬉しい無料サービスがある

パブリッククラウドは引き続き拡大を続ける

■パブリッククラウドサービス市場は引き続き拡大することが予想されている

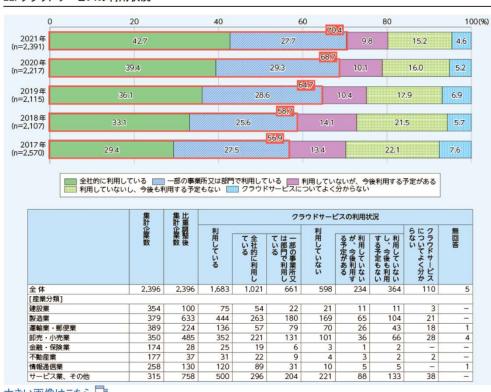
19. 世界のパブリッククラウドサービス市場規模(売上高)の推移及び予測 | 白書掲載番号(3-6-8-1)



大きい画像はこちら

(出典) Omdia

22. クラウドサービスの利用状況



大きい画像はこちら

(出典)総務省「通信利用動向調査」

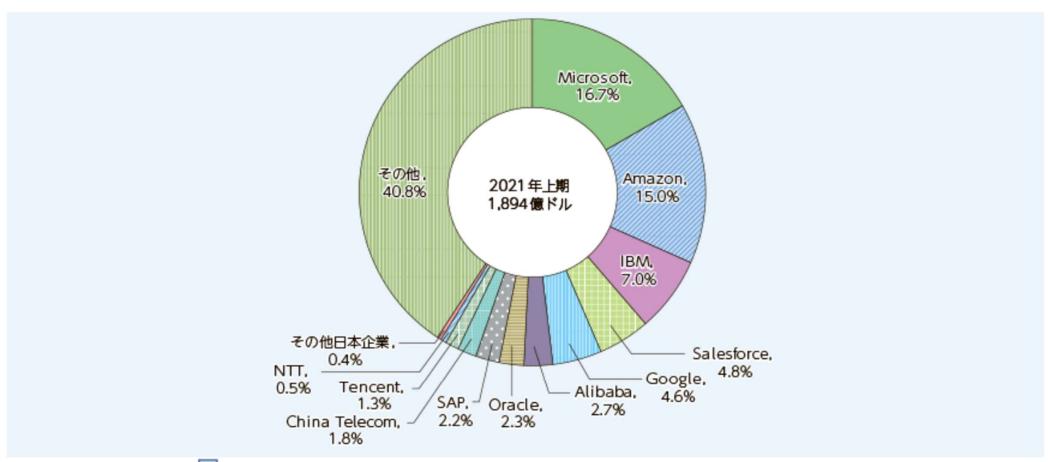
https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html

総務省 | 令和4年版 情報通信白書 | データ集(第3章第6節) https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf306000.html

Microsoftはパブリッククラウドの中で高い市場シェアを確保している

■ パブリッククラウドサービス市場におけるMicrosoftのポジション

20. 世界のパブリッククラウドサービス市場のシェア



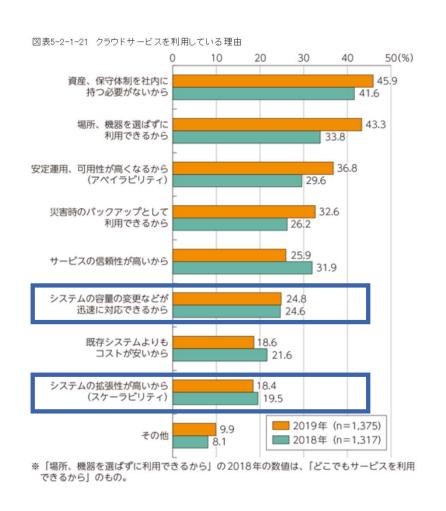
大きい画像はこちら

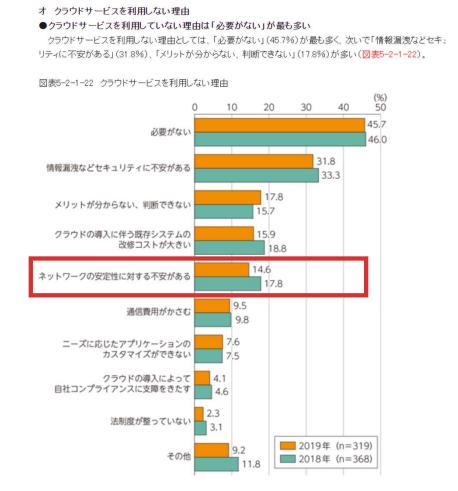
(出典) Omdia

総務省 | 令和4年版 情報通信白書 | データ集(第3章第6節) https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r04/html/nf306000.html

クラウドを利用する理由と利用しない理由

- 青枠の項目と赤枠の項目は実感とも一致する
- クラウドのメリットは環境の立ち上げと拡張にかかる時間が圧倒的に短縮されること





総務省 | 令和2年版 情報通信白書 | 企業におけるクラウドサービスの利用動向 https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r02/html/nd252140.html

おまけ 個人開発者にとっても嬉しい無料サービスがある

- Container Apps
 - コンテナ化されたアプリケーションをホスティングできる
- Static Web Apps
 - SSL化された独自ドメインの静的サイトやSPAのホスティングができる
- Azure AD B2C
 - MFAを使った高度な認証基盤
 - 月間50000アクティブユーザまでは無料
 - Container AppsやStatic Web Appsは設定をするだけでB2Cの認証を有効にできる
- Azure Data Explorer
 - 100GBまでを上限に分析用DBであるDataExplorerを無償で利用することができる
- Codespaces
 - ブラウザだけあれば、Githubで管理されているコードを対象にVSCodeで開発ができる
 - 月毎に2コア60時間が無料 ≒1日2時間程度使える

などなど多数

https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/free-services/

コンテナー



Container Apps

180,000 vCPU 秒、360,000 GiB 秒、200 万要求

サーバーレス コンテナーを使用して最新のアプリとマイクロサービスを構築し、デプロイします。

コンピューティング



Static Web Apps

サブスクリプションあたり 100 GB の帯域幅、2 つのカス タム ドメイン、アプリあたり 5 GB のストレージ

ソース コードからグローバルな高 可用性まで、フルスタック開発を 効率化します。

Azureの学び方

Azureの学び方

■二大教材がある

- Azure 標準化ガイドライン https://github.com/Azure/Azure-standardization-guideline
- Microsoft Learn https://learn.microsoft.com/ja-jp/training/



教科書 読み物として網羅的で分かりやすい



演習問題

短時間だが実際に無料でAzureを操作できる

Microsoft Learn



Azure 標準化ガイドライン

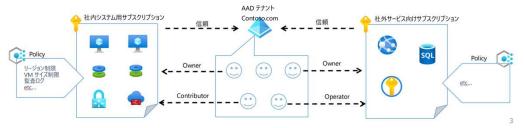
Azure サブスクリプション

基礎知識

Azure サブスクリプションは利用料金の管理単位であり、ガバナンスやセキュリティの境界にもなる。

Azure サービスは必ず1つのサブスクリプションにデプロイされ、その利用量に応じて課金が発生する。 各サブスクリプションは必ず認証基盤となる Azure AD テナントを1つ信頼しており、そのユーザーに対してアクセス制御 (RBAC) を行う。

各サブスクリプションに対して Azure Policy を適用することで、利用可能な Azure サービスや設定に制限をかけることができる。



Azure 標準化ガイドラインの読み方

■ 何をやる場合にも関連するテーマが青字の項目。この項目から確認していくのがオススメ

章	カテ	テゴリー ガイドライン	章	カテ	- ゴリー ガイドライン
0	はし	はじめに		品質	質管理
		1. Azure 標準化ガイドラインとは			1. テスト/検証
1	シフ	ステム全体方式設計	4	セキ	テュリティ方式設計
		1. ビジネス SLA 設定			1. クラウド セキュリティ
		2. laaS / PaaS 選択方式			2. 監査ポリシー/ガバナンス
		3. コスト管理/最適化			3. ID/アクセス権
		4. プロジェクト評価/レビュー	5	高信	言頼性設計
		5. ネーミング ルール			1. レジリエンシー
		6. サブスクリプション管理	6	運戶	用方式設計
		7. ネットワーク構成			1. 障害復旧
		8. データベースとストレージの構成			2. バックアップ / リストア
2	アプ	プリケーション方式設計			3. 監視
		1. 言語の選択とフレームワーク			4. インシデント管理
		2. アプリケーション パフォーマンス			5. サービス リクエスト
		3. 可用性/冗長性			6. クラウド メンテナンス
		4. エラー ハンドリング	7	構成管理	
		5. アプリケーション セキュリティ			1. 変更管理
		6. DevOps (CI/CD)			2. キャパシティ管理
		7. API 管理			3. ソースコード管理
		8. フェールソフト			Convright (C) Yukawa Yuta All rights reserved

- Kusto Query Language(KQL)はAzureを利用する上での必修科目
 - ログを参照する時に利用する
 - 開発中も運用段階でも必要になる
 - Azureを利用するプロジェクトではロールを問わず習得する必要がある
- Kusto Query Language(KQL)の学習方法
 - 100GBまで無料のAzure DataExplorerを使うのがオススメ
 - https://aka.ms/kustofreeから遷移して利用する
 - SQLとの対比表を元にクエリを沢山書いて覚える
 https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/data-explorer/kusto/query/sqlcheatsheet
 - 国土交通省の公開データで自宅周辺の土地取引価格の推移を分析してみた https://www.land.mlit.go.jp/webland/servlet/MainServlet

